

福祉社会専攻

Graduate School of Social Well-being Studies / Major in Social Services

募集人員：修士課程 15名 | 開講形態：**昼間・夜間** (一部夜間開講) | キャンパス：多摩/市ヶ谷

長期履修制度：有 | 主な進路：独立行政法人、福祉関連機関、まちづくり財団、NPO法人、民間企業、進学(博士後期課程) など

福祉やまちづくりの専門知識と実践能力を修得。

「福祉」や「まちづくり」に関する高度専門職業人(ソーシャルワーカー、政策立案者、コミュニティプランナーなど)、研究者の養成を目的としています。福祉、まちづくりの幅広い課題に応えるために、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系の3領域の科目群を設置。また、社会人が学びやすいようにさまざまな制度を整えています。

授業は、昼間は主に多摩キャンパスで木曜、金曜に開講(一部土曜を含む)。夜間は主に市ヶ谷キャンパスで月曜、火曜に開講。単位互換制度を利用した福祉系11大学の授業の履修も可能です。

生活する人の視点に立ち、その一人ひとりのウェルビーイングの向上を図るために、福祉コミュニティの創造に寄与する研究を目指しています。

アドミッション・ポリシー

(学生の受け入れ方針)

4年制大学で学ぶソーシャルワーク、システム・マネジメント、コミュニティ・デザインの3つの領域に関わる知識を修得していること、および専門領域に関わる英語力を有していることを受け入れの基準としている。具体的には、専門科目、英語に関する筆記試験(ただし、社会人受験生は免除)および口述試験(面接)を実施している。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

福祉社会の形成に関わる課題と理論を修得した研究者、高度専門職業人の養成を教育課程の方針とする。これに基づくカリキュラムは、福祉社会研究に共通する研究方法を修得する「専門共通科目」、福祉社会の課題と理論をソーシャルワーク、システム・マネジメント、コミュニティ・デザインの領域から学ぶ「専門展開科目」、修士論文に収斂するよう個別指導を行う「演習科目」で構成している。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本専攻では、現代社会においてウェルビーイングを実現することができる人材の養成という人間社会研究科の教育目標を踏まえ、福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論および基礎的な研究力を修得することを、学位授与の方針として設定している。

研究室紹介 | 子どもと家族の貧困問題の解明とその援助について福祉と教育の視点から検討

岩田教授 | 子育てと子育ての社会的不平等、スクール・ソーシャルワーク

現代社会において社会経済的な困難を抱える子どもと家族は、子育てや子育てにおいてどのような不利を負っているのでしょうか。この問題を、子どもの発達段階や家族の状況に即して社会構造的に把握していきます。また、そうした子どもと家族への援助について、社会福祉からのアプローチに加えて、子どもたちの生活にとって大きな位置を占める学校や教育の視点からの可能性も検討していきます。



Voice



修士課程 在学中
大澤 優真

新たな可能性を考え出せるのが魅力、蔵書や設備の充実といった環境面も整っています

進学のきっかけ

私は中東地域について研究したいと思い、その研究ができる大学に進学することを決めました。しかし、「貧困」や「生活保護」に関する社会状況を見聞きし、また大学でそれらについて学び、貧困支援の現場にも関わる中で、いつか「生活保護」への関心が強くなりました。そこで、さらに「生活保護」の研究をしたいと思い、大学院進学を決めました。

大学院の魅力

大学院での研究は辛く厳しいこともありますが、研究や議論を重ねることで、新たな可能性を考え出せることに魅力を感じています。事務課、図書館の職員の方はいつも親切に対応してくださり、また、図書館の蔵書、設備が充実しているなど、快適な研究環境が整っているように感じています。さらに、他大学院との単位互換制度により他大学院の院生とも議論を重ねることができます。

〔研究テーマ〕
外国人と生活保護—生存権保障の観点から—

専任教員と担当科目 (2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

石井 享子 教授 専 保健福祉学、公衆衛生学
研 well-beingと人材育成、ケアマネジメント特論
担 ※2016年度はサバティカル(研究専念年度)です

伊藤 正子 教授 専 社会福祉方法論、異なる民族・文化的背景を持つ人々への社会福祉援助
研 外国人労働者の生活問題、多文化ソーシャルワーク
担 ソーシャルワーク理論研究特論 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

岩田 美香 教授 専 児童・家族福祉論、教育福祉論
研 子育て・子育ての社会的困難に関する研究、貧困家族に対するソーシャルワーク
担 児童福祉特論 論文研究演習Ⅰ/Ⅱ 実践研究演習Ⅰ/Ⅱ

眞保 智子 教授 専 若者支援論、人的資源管理論、障害者のキャリアデザイン
研 若者就労支援、障害者雇用、企業における精神科ソーシャルワーク
担 精神保健福祉特論 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

高取 康之 教授 専 異文化コミュニケーション、英語教育、経営学(マーケティング)
研 多文化混在社会の今後
担 原書講読研究(2016年度は非担当)

中村 律子 教授 専 高齢者福祉論、老いの比較文化論
研 高齢者施設処遇史研究、高齢者福祉制度の比較研究
担 高齢者福祉特論 福祉社会研究法 論文研究演習Ⅰ/Ⅱ 実践研究演習Ⅰ/Ⅱ

布川 日佐史 教授 専 公的扶助論、雇用政策論
研 就労支援と生活保障の日独比較、生活保護自立支援プログラムの検証
担 社会思想史研究 論文研究演習Ⅰ/Ⅱ 実践研究演習Ⅰ/Ⅱ

宮城 孝 教授 専 ボランティア、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論
研 コミュニティソーシャルワーク方法論、超高齢化地域における包括的な支援策
担 地域福祉特論 福祉社会研究法 論文研究演習Ⅰ/Ⅱ 実践研究演習Ⅰ/Ⅱ

湯浅 誠 教授 専 社会的包摂、貧困問題、民主主義
研 生活困窮者支援研究
担 生活問題特論 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

設置科目 (2016年度) ※開講科目は年度により異なります。()内は単位数

<修士課程>	保健医療福祉システム特論(2)
福祉社会研究法(2)	リハビリテーション特論(2)
ソーシャルポリシー特論(2)	ケアマネジメント特論(2)
社会思想史研究(2)	福祉経営特論(2)
データ分析法(2)	非営利組織特論Ⅰ/Ⅱ(各2)
原書講読研究(2)	国際協力特論(2)
ソーシャルワーク特論Ⅰ/Ⅱ(各2)	都市・住宅政策特論Ⅰ/Ⅱ(各2)
ソーシャルワーク理論研究特論(2)	地域空間学特論Ⅰ/Ⅱ(各2)
ソーシャルワーク実践研究特論(2)	地域文化特論Ⅰ/Ⅱ(各2)
地域福祉特論(2)	地域経営特論Ⅰ/Ⅱ(各2)
児童福祉特論(2)	地方自治特論Ⅰ/Ⅱ(各2)
高齢者福祉特論(2)	地域環境特論Ⅰ/Ⅱ(各2)
障害者福祉特論(2)	福祉社会特論Ⅰ~Ⅳ(各2)
精神保健福祉特論(2)	サステイナビリティ研究入門A/B(各2)
海外社会福祉研究(2)	論文研究演習Ⅰ/Ⅱ(各4)
生活問題特論(2)	実践研究演習Ⅰ/Ⅱ(各2)
社会福祉学特論Ⅰ/Ⅱ(各2)	

石川 郁二 教授 専 イギリス18世紀のAlexander Popeの作品、Thames Pathの研究
研 Alexander Popeの作品、Thames Path
担 原書講読研究

岩崎 晋也 教授 専 社会福祉原理、社会福祉思想
研 社会福祉/原理・思想
担 社会福祉学特論Ⅰ 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

佐藤 繭美 教授 専 ソーシャルワーク論(特に終末期ケアを中心として)、当事者および家族への支援
研 当事者・家族への支援、死別ケア
担 福祉社会研究法 ソーシャルワーク特論Ⅱ 論文研究演習Ⅰ/Ⅱ 実践研究演習Ⅰ/Ⅱ

関司 直也 教授 専 農業経済学、農山村政策論、地域資源管理論
研 農山村における地域マネジメント、外部人材と協働する地域づくり
担 地域空間学特論Ⅱ 福祉社会研究法 論文研究演習Ⅰ/Ⅱ 実践研究演習Ⅰ/Ⅱ

土肥 将敦 教授 専 ソーシャルイノベーション、社会的企業家、CSR
研 ソーシャルイノベーションの創出と普及、社会的企業家研究、CSR研究
担 地域経営特論Ⅱ 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

馬場 憲一 教授 専 文化環境政策(文化環境創造論)、文化遺産学、歴史学
研 文化環境を創造し持続するためのシステム研究、地域社会における文化遺産とその保存・活用研究
担 地域空間学特論Ⅰ 福祉社会研究法 論文研究演習Ⅰ/Ⅱ 実践研究演習Ⅰ/Ⅱ

水野 雅男 教授 専 地域経営論、市民活動運営論
研 地域木造住宅保全システム研究、被災地復興地域づくり研究、創造都市研究、医療経済研究
担 都市・住宅政策特論Ⅰ 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

保井 美樹 教授 専 都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究
研 欧米の都市環境システム論、官民連携による地域再生研究、コミュニティ・イノベーションやエリアマネジメントに関する研究
担 地方自治特論Ⅱ 論文研究演習Ⅰ 実践研究演習Ⅰ

服部 環 兼担教授(科目担当) 専 教育心理測定学、心理データ解析
研 項目反応理論と心理データ解析に関する理論と応用
担 福祉社会特論Ⅱ データ分析法

■ 修士生の研究テーマ

- 都市の人口減少・高齢化地区における生活環境とコミュニティに関する研究
—北九州市枝光一区を事例として—
- 性同一性障害当事者の自己肯定に向けた支援のあり方
—性別適合手術前後の心理的側面及び社会的側面の変化に着目して—
- 農山村へ向かう若者の変容
- 中国都市地域における高齢者施設の発展を阻害する要因に関する研究
—青島市の市内4区・21ヶ所の高齢者施設の責任者を対象とした調査から—
- 軽・中度要介護高齢者の在宅ケア継続可能性に関する実証的研究